

「県立学校改革推進プラン・第4次実施プログラム」要約版

県教育委員会では、平成24年3月に「県立学校改革推進プラン」を策定し、平成33年度（2021年度）を目標年次とし、高校改革を進めているところです。今回、プランの一部改訂を行うとともに、改訂した内容を含めたプランに基づき、今後実施すべき高校改革について、「第4次実施プログラム」として取りまとめました。

I 魅力ある県立学校づくりの推進

1 普通科及び普通系専門学科・コース

※：(2020年度)

(1) 医療コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
成 田 北	32年度※	普通科	・医療コースを設置

(2) 保育基礎コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
四街道北	32年度※	普通科	・保育基礎コースを設置

2 職業系専門学科・コース

(1) ものづくりコースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
姉 崎	32年度※	普通科	・ものづくりコースを設置

(2) 工業基礎コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
天 羽	32年度※	普通科	・工業基礎コースを設置

(3) 福祉コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
犢 橋	32年度※	普通科	・福祉コースを設置

II 県立学校の適正規模・適正配置

【全日制高校】

適正規模・適正配置の観点を踏まえつつ、地域における学校の在り方について御意見をいただきながら検討を進め、以下の全日制高校の統合を行うこととしました。

1 全日制高校の配置（統合）

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備 考
君 津 上 総	君 津	33年度 (2021年度)	普通科 園芸科	・上総高校は実習場として使用 ・校名については今後検討

なお、生浜高校全日制課程の今後の在り方については、志願者数の動向や学区内の中学校卒業生数の推移も注視しながら、検討してまいります。

【定時制高校・通信制高校】

定時制高校は、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増えており、在籍する生徒の多様なニーズに応えるため、一層の教育環境を整える必要があることから、以下のような定時制高校の充実を図るための具体的な内容を盛り込みました。

1 定時制高校の配置（統合・学科改編）

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備 考
船 橋 行 徳	船 橋	3 4 年度 (2022 年度)	総合学科	・ 定時制課程を統合 ・ 普通科を改編し総合学科を設置 ・ 行徳高校定時制課程は、募集を停止

2 定時制高校の配置（学科の再構成）

（1）工業に関する学科の再構成

対象高校	実施年度	備 考
千葉工業	3 2 年度※	・ 機械科、電気科を 工業科 に再構成
市川工業	3 2 年度※	・ 機械電気科、建築科を 工業科 に再構成

（2）商業に関する学科の再構成

対象高校	実施年度	備 考
木更津東	3 2 年度※	・ 普通科に 商業に関するコース を設置 ・ 商業科は、募集を停止

3 定時制高校の配置（三部制定時制高校の設置）

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
佐 倉 南	3 4 年度 (2022 年度)	普 通 科	・ 三部制定時制高校 の設置 ・ 佐倉南高校全日制課程は、募集を停止 ・ 佐倉東高校定時制課程は、募集を停止 ・ 佐倉東高校定時制課程の在校生転入

4 通信制高校の配置（通信制協力校）

- ・ 通信制高校から遠距離にある高校を通信制協力校に指定し、スクーリングや定期試験を受けられるようにします。
- ・ 館山総合高校において、平成 29 年度から新たにスクーリングを実施しています。

Ⅲ 今後の魅力ある高等学校づくりに向けて

県立学校改革推進プランに基づく具体計画は、第 4 次実施プログラムが最終プログラムとなりますが、以下の観点に留意しつつ、平成 33 年度（2021 年度）までの状況の変化によっては、一部プログラムの追加・修正を検討してまいります。

- グローバル化に対応する教育の充実と、国際バカロレア教育についての調査研究
- 全日制高校・定時制高校の配置については、統合の実施を含めて引き続き検討
- 全ての学校が取り組む魅力ある県立高等学校づくりと、先進的かつ優れた取組等についての支援・共有化・情報発信